

稲作情報 No.12

〔大豆畝間かん水・防除、そば播種〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、JA中央会、JA経済連、主要農作物振興協会）

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/inasaku.html>

- 無降雨期間が7日以上続き、溝面が白くなり始めたら畝間かん水を実施しましょう。
- そば播種前に圃場を十分乾燥させるため、麦跡の排水溝の手直しや排水溝の設置を行いましょ。

着莢向上のための畦間灌水

晴天が1週間続いたら実施（7月中旬～8月下旬）



乾燥による葉の裏返り



畝間灌水

- 短時間で水を圃場に流し込み、圃場全体に水が行き渡ったら、湿害回避のために速やかに排水しましょう。
- かん水はできるだけ地温の低い夕方または早朝に行いましょう。
- 排水の悪い圃場では湿害となるため、実施しない。

大豆

作業	作業の注意点												
病虫害防除	<ul style="list-style-type: none"> 紫斑病と組み合わせて適期防除に努める。朝夕風のない時間帯に、薬剤が莢に充分付着するよう散布する。 <table border="1" data-bbox="416 265 1970 762"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 265 779 311">病虫害</th> <th data-bbox="779 265 1970 311">防除</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 311 779 357">ウコンノメイガ</td> <td data-bbox="779 311 1970 357">発生量は昨年並み。葉が巻き始める7月下旬～8月はじめに防除する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 357 779 402">紫斑病</td> <td data-bbox="779 357 1970 402">種子消毒や自家種を使用している場合は防除する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 402 779 448">シロイチモジマダラメイガ</td> <td data-bbox="779 402 1970 448">幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 448 779 596">フタスジヒメハムシ</td> <td data-bbox="779 448 1970 596"> 第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 〔 要防除水準は、8月下旬（第2世代成虫発生盛期）に払い落としを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。 〕 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 596 779 762">カメムシ類</td> <td data-bbox="779 596 1970 762"> 圃場への侵入が多くなる子実肥大期（8月下旬）以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 〔 要防除水準は、8月下旬（圃場侵入期）は100個体当たり0.3頭、9月中旬（発生盛期）は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。 〕 </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤は最寄りのJAで取扱いの薬剤を御確認ください。 	病虫害	防除	ウコンノメイガ	発生量は昨年並み。葉が巻き始める7月下旬～8月はじめに防除する	紫斑病	種子消毒や自家種を使用している場合は防除する	シロイチモジマダラメイガ	幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。	フタスジヒメハムシ	第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 〔 要防除水準は、8月下旬（第2世代成虫発生盛期）に払い落としを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。 〕	カメムシ類	圃場への侵入が多くなる子実肥大期（8月下旬）以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 〔 要防除水準は、8月下旬（圃場侵入期）は100個体当たり0.3頭、9月中旬（発生盛期）は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。 〕
病虫害	防除												
ウコンノメイガ	発生量は昨年並み。葉が巻き始める7月下旬～8月はじめに防除する												
紫斑病	種子消毒や自家種を使用している場合は防除する												
シロイチモジマダラメイガ	幼虫が莢に食入する前、大豆若莢期から莢伸長期の8月中旬以降。												
フタスジヒメハムシ	第2世代成虫の発生盛期である8月下旬が防除適期。 〔 要防除水準は、8月下旬（第2世代成虫発生盛期）に払い落としを行い、1.5m、2条当たり約70頭以上の場合には直ちに防除する。 〕												
カメムシ類	圃場への侵入が多くなる子実肥大期（8月下旬）以降。8月下旬と9月10日頃の2回防除すると効果が高い。 〔 要防除水準は、8月下旬（圃場侵入期）は100個体当たり0.3頭、9月中旬（発生盛期）は100個体当たり4.0頭以上の場合には防除する。 〕												

そば

作業	作業の注意点
圃場準備	<ul style="list-style-type: none"> ・そばは湿害に非常に弱いので、栽培圃場の排水性を確保する。 ・できるだけ早めに排水溝を整備し、徹底した乾燥を図る。排水口は排水溝の底面より低くする。 ・麦跡は溝の掘り直しだけ実施し、播種まで耕うんしない。耕うんすると降雨の水が土壌中に保持され乾燥しない。 ・雑草が多い場合は事前に耕うん、すき込むが、耕うん時期が遅いと播種までに圃場が乾かない。
施肥量	<ul style="list-style-type: none"> ・窒素成分で2kg/10aが基準、大豆専用肥料等を用いてリン酸、加里を多く施用する。
播種時期、播種量	<ul style="list-style-type: none"> ・播種が早すぎると、草丈が伸びて倒伏、結実率も低下するが、遅いと減収する。 ・美山南宮地在来は8月5～15日、大野在来は8月15～20日と、在来種に合わせて播種する。山間地ではやや早く播種する。 ・例年湿害が発生しやすい排水不良田では、8月下旬に天候が崩れる前に生育量を確保するために8月上旬から播種を始める。 ・播種量は、条播で4～5kg/10a、散播で5～6kg/10a。苗立ちの目安は、100～150本/m²。 ・播種深度：2～3cm、条間：25cm～30cm程度。 ・出芽が揃い、倒伏に強くなるロータリシーダによる条播が望ましい。耕うん作業と播種作業は同一日に行う。耕うんの目標は直径2cm以下の土塊が重量割合で60%以上。 ・散播の場合には、覆土代わりに播種後軽く（深さ5cmまで）ロータリをかける。これをしないと播種後乾燥が続いた場合、苗立ち不良となる
病虫害防除	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場周辺の除草を徹底し、ヨトウムシ類の侵入を予防する。 ・ハスモンヨトウは成虫発生初期から終期までフェロモントラップ（フェロディンSL）を2～4個/ha設置し雄成虫を誘殺する。また、圃場をよく観察して発生盛期にロムダン粉剤DL、ロムダンフロアブル、ゼンターリ顆粒水和剤で防除する。 ・ハスモンヨトウの発生盛期は平年で9月10～20日頃。

ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-et.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ→ 農業技術情報 →稲作情報システム

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

NO	地名	品種	栽培方法	地域区分
4	高山一級産	ハナエチゼン	移植	高丹中
7	あわのこ伊豆	ハナエチゼン	移植	低丹平
45	笹井農圃-小大	ハナエチゼン	移植	低丹平
46	笹井農圃-中産	コヒカリ	移植	低丹平
56	笹井一級産	ハナエチゼン	移植	高丹平
110	笹井二下産(直産)	コヒカリ	直産	低丹平
112	あわのこ一級産(直産)	コヒカリ	直産	低丹平
58	笹井農圃-一級産	あきさかり	移植	低丹平
113	笹井農圃-直産	コヒカリ	移植	低丹平
70	福井二下産(直産)	コヒカリ	移植	高丹平
71	福井二上産(直産)	コヒカリ	移植	高丹平
72	永平二下産(直産)	コヒカリ	移植	高丹平
73	津久二下産(直産)	コヒカリ	移植	高丹平
74	三原二下産(直産)	コヒカリ	移植	低丹平
75	丸岡二下産(直産)	コヒカリ	移植	低丹平
76	丸岡二上産(直産)	コヒカリ	移植	低丹平
83	福井二下産	あきさかり	移植	高丹平
116	丸岡一級産	ハナエチゼン	移植	低丹平

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

【天気予報】

7月30日11時発表

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

日付	31 金	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木
福井県	曇のち時々晴	晴時々曇	曇時々晴	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	10/10/20/20	20	20	20	20	20	30
信頼度	/	/	A	A	A	A	C
最高(°C)	32	34 (33~35)	35 (33~36)	35 (31~36)	35 (32~36)	34 (31~36)	34 (32~35)
最低(°C)	25	25 (23~26)	25 (24~26)	25 (23~26)	25 (23~26)	25 (23~26)	25 (23~26)

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス